

赤坂プレスセンターの現状と区の取組

代替地返還

◆昭和58（1983）年に日米合同委員会で合意された環状三号線の道路用地の共同使用と臨時ヘリポート用地の追加提供が合意され、翌昭和59（1984）年に臨時ヘリポートが完成しました。

◆平成5（1993）年の環状三号線工事完了後においては、臨時ヘリポートは、日米合同委員会の合意により、陸上自衛隊に共同使用されていた。

◆平成19（2007）年に日米合同委員会で、臨時ヘリポート用地の代替地として一部の土地の返還が合意され、東京都と在日米陸軍は緊急時使用に係る協定を締結しました。

◆平成23（2011）年に臨時ヘリポート用地の代替地として一部土地が日本に返還されました。

騒音調査

◆平成20（2008）年10月、臨時ヘリポートを使用している米軍ヘリコプターによる騒音等の実態把握のため、基地周辺の町会・自治会にアンケート調査を実施しました。

調査結果：米軍ヘリの音をうるさく感じる…88%
（しょっちゅう、時々）

◆平成21（2009）年2月、臨時ヘリポートを使用している米軍ヘリコプターによる騒音発生状況等の実態把握のため、騒音測定調査を実施しました。

調査結果：「小規模飛行場環境保全暫定指針値」及び「航空機騒音に係る環境基準」を準用し適合

◆平成27（2015）年3月、小学校等への騒音等の影響・実態を把握するため、基地周辺の小学校・保育園等に聴き取り調査を実施しました。

調査結果：

ほとんどの施設…「音は気になるが保育・授業に差し障るほどでない」、
「気になるほどでもなく保育・授業できる」と回答

一部施設…「時々うるさく感じる」、「特定の教室で授業に差し障ることが時々ある」と回答

要請行動

○区は…平成3（1991）年から、渉外知事会（米軍基地が所在する15都道府県で構成される）を通して、基地の早期返還を国に要望しています。平成8（1996）年には、東京都を訪問し、米軍ヘリポート撤去、臨時ヘリポートの原状回復を要請しました。以降、基地の早期返還、米軍ヘリポート撤去、臨時ヘリポートの原状回復について、米国大使館、防衛省、東京都へ要請してきました。

○区議会は…昭和42（1967）年に「米軍ヘリポート撤去方に関する意見書」を採択し、防衛施設庁（現：防衛省）に要請しました。以降、基地の撤去・返還、騒音に関する意見書を米国大使館、防衛省、東京都あてに提出してきました。

○区と区議会は…平成16（2004）年8月に発生した沖縄県宜野湾市の沖縄国際大学構内への米海兵隊の大型輸送ヘリコプター墜落事故を契機に、区は区議会とともに、区民の安全で快適な生活を守るため、ヘリポート基地の早期撤去に向けた要請を継続して行っています。

◆これまでの要請行動（過去5年間）

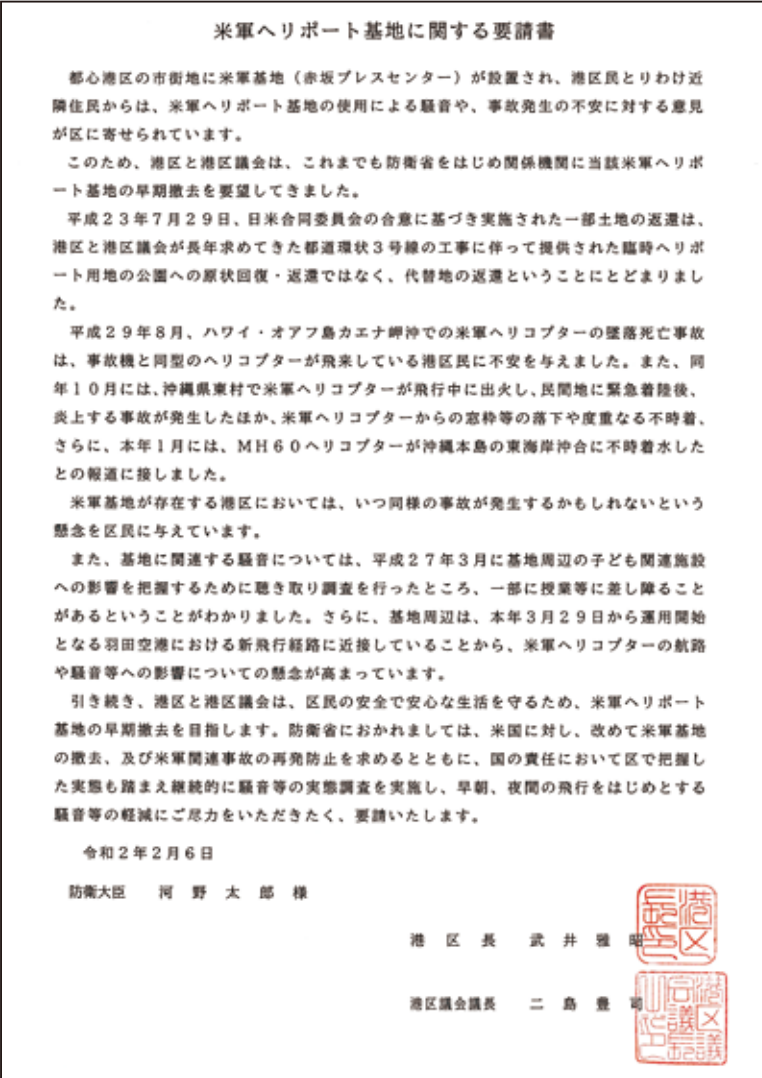
平成28(2016)年2月12日 防衛省・東京都に訪問	【内容】 事故に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
平成29(2017)年2月8日 防衛省・東京都に訪問	【内容】 事故に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
平成29(2017)年8月25日 防衛省に要請書送付	【内容】 ハワイ・オアフ島沖での米軍ヘリ墜落事故機と同型機が赤坂プレスセンターに飛来していることを受けて事故の原因究明及び再発防止並びに基地撤去
平成29(2017)年10月12日 防衛省に要請書送付	【内容】 沖縄県東村の民間地での米軍ヘリ墜落事故を受けて事故の原因究明及び再発防止並びに基地撤去
平成30(2018)年2月8日 防衛省・東京都に訪問	【内容】 事故に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
平成31(2019)年2月6日 防衛省・東京都に訪問	【内容】 事故に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
令和2(2020)年2月6日 防衛省・東京都に訪問	【内容】 事故に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減

過去の要請文は、港区公式ホームページでご覧いただけます。

港区 米軍基地

◆静穏を必要とする地元行事等の調査

毎年四半期毎に北関東防衛局企画部地方調整課からの照会を受け、地元行事等への配慮を要請しています。



（防衛大臣宛要請書）



（防衛省へ要請書を提出）

ニューサンノー米軍センター

【所在地・面積】 港区南麻布 7,243㎡（私有地）
【用途】 その他（宿泊施設）
【管理部隊】 在日米海軍横須賀基地
【沿革】 昭和58（1983）年6月 施設完成

区に寄せられた米軍基地に関するご意見

Q1 なぜ、港区はヘリポート基地の撤去を要請しているのでしょうか。

A1 基地があることで区民、特に近隣にお住まいの方は、ヘリコプターの離発着に伴う騒音や臭気等に悩まされています。また、事故発生の不安も抱えています。区民の安全・安心を守るため早期撤去を要請しています。

Q2 ヘリポートの近所に住んでいます。米軍の施設なのかどうかも不明ですが、返還期限は過ぎているはずですが、区はどのような返還活動をしているのでしょうか。

A2 都立青山公園の中にある赤坂プレスセンターには米軍ヘリポートが併設されています。環状三号線整備に伴い提供された臨時ヘリポート用地は返還されず、代替地が平成23（2011）年に返還されました。区は、区議会とともに、基地の撤去を要請しています。平成25（2013）年、平成26（2014）年には近隣町会代表も同行し、地域の実情を訴えました。

Q3 東京都は緊急時や防災訓練等でヘリポートを使用しています。区も防災訓練等で使用し、災害時等に備えた方が良くないのでしょうか。

A3 人命救助や緊急時に備えて、東京都が救急搬送や防災訓練等で使用することがありますが、一時的な使用が基地の機能の拡大や恒久化につながることはないように要請しています。